

■高田屋嘉兵衛 廻船業者，場所請負人。蝦夷地政策に食込んで豪商になり，ロシア船にだ捕され，交換釈放で帰還。

たかだやかへえ

・ ・ ・ ・ ・ 1769＝ 淡路島の寒村で，在郷武士の家系でながら水呑百姓に没落した弥吉の子に生まれる。

田沼意次老中 1772＝ 3歳：

母方の叔父の漁師に預けられ，小商人の手伝いをするようになった。

ｼﾌ船蝦夷来 1778＝ 9歳：

田沼意次失脚 1786＝17歳：
寛政改革始・1787＝18歳：

異学の禁・ ・ 1790＝21歳： 網元の娘ふさと恋仲になり，恨みを買ったことから，兵庫の小船主境屋喜兵衛をたよって共に家出。

混浴禁止・ ・ 1791＝22歳： 喜兵衛の事業拡大策の一環として，樽前船の乗組員になった。その成果が評判となり，

ﾌｻﾏﾝ来日・ 1792＝23歳： この頃，ふさと結婚。

松平定信引退 1793＝24歳： 兵庫港を取りし切っていた北風家の斡旋で，初めて船持船頭になった。

新型の帆船を開発して海運を飛躍させた，工楽松右衛門から，北前船への進出を勧められる。

兵庫を根拠に日本海・松前方面との廻船業を始め，資金を蓄えとともに，栖原角兵衛の後押しで，

ﾌﾟｰﾄﾝ来航・ 1796＝27歳： *五隻の船持として，高田屋を名乗り，北海の雄商として出陣した。

古事記伝・ ・ 1798＝29歳： 箱館にも出店。厚岸に寄港中に調査に訪れた近藤重蔵と親しくなり，以後幕府の北方政策にも便乗，

蝦夷地直轄始 1799＝30歳： 択捉島に至る航路や，

伊能測量始・ 1800＝31歳： 同島の漁場を開発し，

宣長没・ ・ ・ 1801＝32歳： *幕府から苗字帯刀を許され，蝦夷地定雇船頭を命じられ，間宮林蔵を乗せて蝦夷地を一周。

一九膝栗毛始 1802＝33歳： 再び，政府高官を乗せて蝦夷地へ赴く。

ｱﾏﾘｶ船来航始 1803＝34歳： 箱館の埋立て事業に参加して土地を得，造船所を設ける。

続いて蝦夷地東部にも場所請負の漁場を経営。

青洲麻酔手術 1805＝36歳：

ｲﾅﾞﾉ報復・ 1806＝37歳： 大坂町奉行から地方物産の売捌き方を命じられて御用商となり，北海と天下の台所大坂を結ぶ海商の地位を不動のものとし，箱館に本店，兵庫・大坂に支店を設けて手船数十艘を動かす有力商人となった。

この間，交易通商を求めて幕府に拒否されたロシアが樺太や択捉の会所を焼き払い，幕府が諸藩に出兵を命じた際，兵員輸送を命じられて投入，幕府の賞賛を受けた仙台藩から感謝状を受けた。

・ ・ ・ ・ ・ 1810＝41歳： 幕府から択捉場所請負(管理)を命じられる。

高田屋拿捕・ 1812＝43歳： 前年におきたゴロブニン逮捕の報復として国後島付近の海上でロシア船に捕らえられたが，

浮世床・ ・ ・ 1813＝44歳： *ロシア船長リコルドに伴われて国後に至り，ゴロブニンの釈放に尽力，その実現により嘉兵衛も帰国。

黒住教・ ・ ・ 1814＝45歳： 幕府が蝦夷地定備船頭の称号を復活したことから，再び北海交易に従事するが，

水野忠成老中 1818＝49歳： *にわかに，家業を弟にまかせて故郷の淡路に隠退し，

ｼｰﾎﾞﾝ来日・ 1823＝54歳：

日本外史・ ・ 1827＝58歳： 没した。